

志位委員長



代表質問に立つ志位委員長＝8日、衆院本会議

消費税を5%に

「『とても暮らしていけない』という怨嗟(えんさ)の声が全国で広がっている」。日本共産党の志位和夫委員長は8日の衆院本会議で代表質問に立ち、消費税10%増税を強行した安倍政権に強い憤りをもって抗議しました。

導入から31年。弱者から吸い上げ、大企業と富裕層を潤すのが消費税の正体で、日本を世界でも異常な「経済成長できない国」にした、と告発。具体的な財源提案と合わせ、消費税廃止を目指し、緊急に5%に減税することを強く求めました。

4、5面で特集

地元山口から 数百人規模

首相主催「桜を見る会」スクープ

安倍後援会 御一行様 招待

2019年の桜を見る会の招待状と参加者のリボン、お土産の升

内閣府 安倍 晋三

内閣府 安倍 晋三

内閣府 安倍 晋三

税金でおもてなし



桜を見る会で地元・山口県の後援者らと記念撮影する安倍首相夫妻＝4月13日、東京・新宿御苑(自民党の島田教明・山口県議のブログから。画像は一部加工)

各界の功労者などを招待するとして、多額の税金を使って開かれている安倍晋三首相主催の「桜を見る会」。本来の目的に反し、首相の地元後援会関係者が数百人規模で大量に招待されていたことが編集部の取材でわかりました。参加窓口は首相の地元事務所。後援会旅行の「目玉」に位置付けられていました。行政がゆがめられ、特別の便宜が図られた、首相の国政私物化疑惑を追います。

取材班

「桜を見る会」には毎年参加している。地元の後援会が数百人規模で上京し、みんなで首相と記念写真をとっている。安倍事務所の恒例行事だよ」

安倍首相の地元、山口県下関市の後援会関係者が話します。

桜を見る会には内閣府の公的行事。第2次安倍政権発足後の2013年以降は毎年、東京・新宿御苑で実施しています。1万人前後だった参加者は増え続け、今年は1万8200人に。18年には予算の3倍の5229万円が支出され、国会で大問題になりました。

同会は「各界で功績、功労のあった方々を、各府省からの意見を踏まえて幅広く招待している」(普義偉官房長官)もの。対象外の後援会員はどのようなルートで招待されるのか。

複数の後援会員は「下関の安倍事務所から参加確認があり、希望すれば、内閣府から招待状が送られてくる」と証言します。

「安倍事務所が飛行機やホテル、貸し切りバスを手配し、旅費は自分持ちだ。都内観光や前夜祭などの後援会旅行の目玉行事が、桜を見る会だ」

前夜祭は、桜を見る会前日に安倍首相が出席して開かれる後援会行事。「13年は100人ほどだったが最近では数百人規模になった」と参加者は証言します。今年の前夜祭(4月12日)はホテルニューオータニ(東京)で開催。出演した歌手はブログに「1000人ほどのお客様」と書いています。

桜を見る会に安倍首相の後援会関係者が大量に参加していることは内閣府も当然、知っていること。招待者名簿をみれば明らかです。6面に続く

各界の功労者などを招待するとして、多額の税金を使って開かれている安倍晋三首相主催の「桜を見る会」。本来の目的に反し、首相の地元後援会関係者が数百人規模で大量に招待されていたことが編集部の取材でわかりました。参加窓口は首相の地元事務所。後援会旅行の「目玉」に位置付けられていました。行政がゆがめられ、特別の便宜が図られた、首相の国政私物化疑惑を追います。

取材班

「桜を見る会」には毎年参加している。地元の後援会が数百人規模で上京し、みんなで首相と記念写真をとっている。安倍事務所の恒例行事だよ」

安倍首相の地元、山口県下関市の後援会関係者が話します。

桜を見る会には内閣府の公的行事。第2次安倍政権発足後の2013年以降は毎年、東京・新宿御苑で実施しています。1万人前後だった参加者は増え続け、今年は1万8200人に。18年には予算の3倍の5229万円が支出され、国会で大問題になりました。

同会は「各界で功績、功労のあった方々を、各府省からの意見を踏まえて幅広く招待している」(普義偉官房長官)もの。対象外の後援会員はどのようなルートで招待されるのか。

複数の後援会員は「下関の安倍事務所から参加確認があり、希望すれば、内閣府から招待状が送られてくる」と証言します。

「安倍事務所が飛行機やホテル、貸し切りバスを手配し、旅費は自分持ちだ。都内観光や前夜祭などの後援会旅行の目玉行事が、桜を見る会だ」

前夜祭は、桜を見る会前日に安倍首相が出席して開かれる後援会行事。「13年は100人ほどだったが最近では数百人規模になった」と参加者は証言します。今年の前夜祭(4月12日)はホテルニューオータニ(東京)で開催。出演した歌手はブログに「1000人ほどのお客様」と書いています。

桜を見る会に安倍首相の後援会関係者が大量に参加していることは内閣府も当然、知っていること。招待者名簿をみれば明らかです。6面に続く

歴史偽造する首相所信 志位委員長代表質問のポイント 45

小田部羊一さん 3

「なつぞら」の時代とアニメ 小田部羊一さん 3

補助金中止検閲を問う 35

在日米軍に税金20兆円 18 19

横田基地の球場まで日本持ち 2

野党連合政権への道 2

佐藤賢一さん 29

小説ナポレオン 29

千葉長期停電が命を奪う 32

甘言で借金漬け狙いは20代 9

中島ひろ子さん 30

東南アジアのサッカー向上 17

都並 敏史さん 17

文字通り爆笑舞台 31

インターバル 33

速歩 実践編 33

小池 徹平さん 31

「リカ」で医師役 31

マキタスポーツさん 36

芸能界のど真ん中で堂々と

購読申し込み ☎03(3403)6111 定価税込 月930円 (本体価格861円) 1部売り240円

日刊紙月3497円(本体価格3238円)1部売り130円 郵送は別途送料 郵便振替口座 日本共産党中央委員会 00180-6-194897

安倍政権が税金私物化

後援会を「裏口」招待続々

首相後援者が「桜を見る会」に参加するまで

1月下旬ごろ

安倍首相が開催日を発表

- ・首相の山口県内の地元事務所が後援者らに参加確認
- ・同事務所が旅行会社をあっせん。旅費は自己負担

「安倍事務所から封書などで、参加確認の案内が届いた」（地元後援者）

2月下旬～3月上旬ごろ

内閣府が招待状を送付

4月 桜を見る会前日朝

- ・後援者らが宇部空港に集合
- ・羽田空港着

「羽田に到着後、複数ルートに分かれてバスで観光」（複数の参加者）

前日夕

「安倍晋三後援会 桜を見る会前夜祭」都内ホテル

- ・首相や後援会幹部があいさつ
- ・歌手らが出演
- ・首相や昭恵氏と参加者が記念撮影

当日朝

- ・後援者らが前夜祭会場のホテル前に集合
- ・大型バスで新宿御苑に移動
- ・開会前に首相と記念撮影

「桜を見る会」新宿御苑

首相動静—13日【午前】7時48分、東京・内藤町の新宿御苑。49分、昭恵夫人とともに後援会関係者らと写真撮影（「朝日」4月14日付）

安倍晋三首相主催の桜を見る会。今年は4月13日に開かれ、参加した山口県在住の女性は当日のことを振り返ります。

「集合場所のホテルニューオータニから大型バスで会場の新宿御苑に行きました。私が乗ったのは十数台目。号車や時間は安倍事務所の指定でした。バスは17台と聞きました」

仮に定員40人のバスですべて満員だったとすると680人が行ったこととなります。

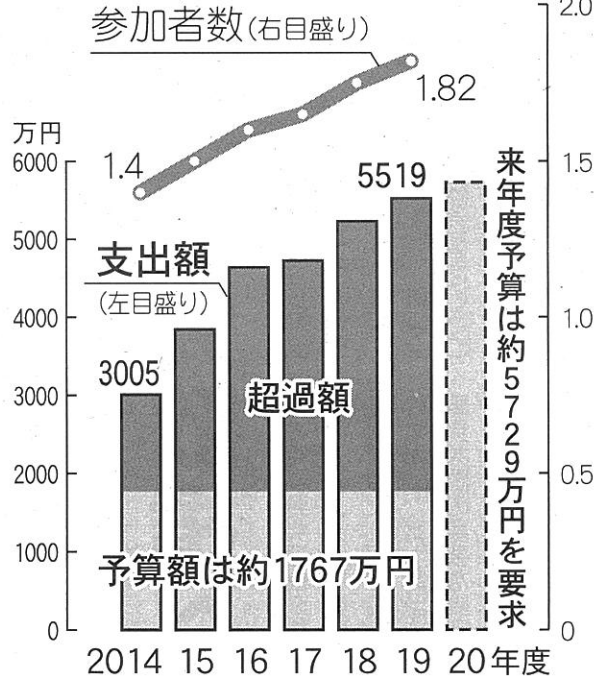
山口県下関市の自民党関係者は「新宿御苑で一般招待客は並んで手荷物検査がある。しかし「下関組」はバスの駐車場がある「裏口」から入るのが恒例だ」と明かします。

下関市の後援会員の男性も「到着すると、安倍事務所の秘書らがバスの座席をまわって、入場のための受付票を回収する。その秘書が受け付けを済ませ、参加者のリボンを配る。まとめてのチェックインで手荷物検査はなかった」と話します。

手荷物検査もなしの特別扱い。バスの号車務所に送り返すと、内閣府から桜を見る会の招待状が届いた。安倍政権になってから毎年参加している。下関からは毎年数百人が上京する。

「2月ごろ、下関市の安倍事務所から「桜を見る会」に行きませんか」と案内が来た。名前や住所などの必要事項を紙に書いて安倍事務所へ送ると、内閣府から桜を見る会の招待状が届いた。安倍政権になってから毎年参加している。下関からは毎年数百人が上京する。

安倍政権が増やした「桜を見る会」の支出額



順に首相との記念撮影があったといわれています。この後援会員は、招待者の人選も安倍事務所が取り仕切っていたと詳しく証言します。

「2月ごろ、下関市の安倍事務所から「桜を見る会」に行きませんか」と案内が来た。名前や住所などの必要事項を紙に書いて安倍事務所へ送ると、内閣府から桜を見る会の招待状が届いた。安倍政権になってから毎年参加している。下関からは毎年数百人が上京する。

「2月ごろ、下関市の安倍事務所から「桜を見る会」に行きませんか」と案内が来た。名前や住所などの必要事項を紙に書いて安倍事務所へ送ると、内閣府から桜を見る会の招待状が届いた。安倍政権になってから毎年参加している。下関からは毎年数百人が上京する。

るツアーが2、3コース生まれ、羽田空港に到着すると貸し切りバスで東京スカイツリーなどを見学した」

これらの証言を裏付けるブログも。自民党の友田有（たもつ）・山口県議は「安倍首相主催「桜を見る会」へ」（2014年5月1日）と題してこう記述しています。

「前日の早朝に飛行機で上京して、貸切バスで東京スカイツリーや築地市場など都内観光をしました」

桜を見る会には芸能人やスポーツ選手が多数参加。無料でアルコールを含む飲食ができます。

参加者らは「同行した家族が「芸能人と会えて、いい思い出になった」と喜んでいました。後援会旅行みたいなもので、桜を見る会はその目玉行事だった。和菓子やタケノコご飯をお土産にももらった。大

今、芝居の稽古の最中です。いつものことですが、稽古中はその内容で頭がいっぱいになってしまっています。今回のモチーフは「斜め」「地下」です。いろいろな斜面や洞窟や地下の部屋が出てきます。炭坑も出てきます。何気ないセリフの中にも情報が入っていて、調べることも多くなります。炭坑については山本兵衛さんの本を参考にしました

作兵衛さん、ありがとうございます

た。作兵衛さんは1892年に生まれ、7、8歳から炭坑に入り、15歳で坑夫になり、その仕事は50年間に及びました。65歳を過ぎた頃から「孫たちにママの生活や作業、人情を書き残しておこう」という思いで「ゴットン節」という歌も芝居に登場します。歌詞は坑夫・坑婦たちがアドリブで作ったのだそうです。作兵衛さんが歌う「ゴットン節」のCDを聴きながら覚え、絵です。一枚一枚には解説文も書き込まれています。ビデオカメラなどない時代の貴重な記録画は、日記などとともに2011年、世界記憶遺産に登録されました。日本での初登録です。稽古は進んでいます。

（俳優）



風の色

2014年5月1日号 vol.87

安倍首相主催「桜を見る会」へ。」



自民党の友田県議のブログ。「後援会女性部の7名の会員の方と同行」と書かれています（画像は一部加工）

桜を見る会の前日に開かれたパーティーで、安倍晋三後援会主催の「桜を見る会前夜祭」が、（自民・友田県議）と記述しています。

14年に参加した山口県議はブログに「夜には（中略）下関市・長門市として山口県内外からの招待客約400人による安倍首相夫婦を

違法の疑い「前夜祭」

通り「裏口」から特別に招待していたのです。お友達のために行政をゆがめるのは、森友・加計（かけ）疑惑と同じ構図です。

招待者名簿を作成した内閣府は当然、首相の後援会員の名前が大量に載っているのを承知していたはずでした。

日本共産党の宮本徹衆院議員は衆院財務金融委員会（5月21日）で「どうやって招待状を出す仕掛けができていたのか」と追及。内閣府は「招待者名簿など」資料が残っていない」「破壊した」として詳細を明かしませんでした。

政治資金規正法は、対価を徴収して行われる催し物を「政治資金パーティー」と規定。収入や経費を収支報告書に記載するよう義務付けています。ところが、安倍首相が代表の政党支部や関係する政治団体の収支報告書には、前夜祭の収支の記載がありません。政治資金規正法違反（不記載）の疑いがあります。

編集部の取材に安倍事務所は「担当者がいない」として回答しませんでした。

日本共産党本部前 新日本ビル
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷四-1-5
TEL 03(3402)4146 FAX 03(3402)4147